優秀賞

冬・地下新聞

冬の地下情報もりだくさん。
チ・カ・ホも！

発行者
・大友絢琳・金田成実
・竹原遥香・中島皓
・山本大誠

発行日
2015年
1月20日

二つの視点から見たチカホ

利用者

A Q1 冬の地下歩行空間の良さは何ですか？

- ・滑らないので安心して歩けるところ。
- ・座るところもあるし、お店もあるところ。
- ・天気が悪くても平気だし、風や寒さもしのげるところ。
- ・信号がないので早く歩けるところ。
- ・車いすの人もお年よりも楽に歩けるところ。

A Q2 どんなときに利用しますか？

- ・買い物のときに利用する。

一番、多い回答でした。

- ・仕事に行く時に利用する。

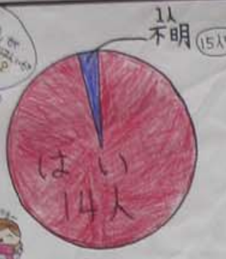
出入口が多く便利だそうです。

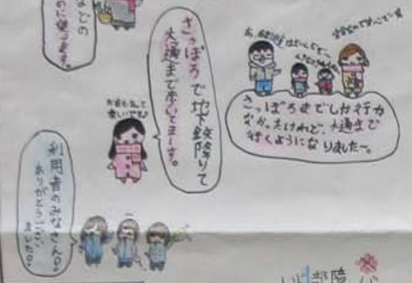
待ち合わせで利用する。

寒くないので便利です。

A Q3 行動はんいは広がったか？

はい 14人
不明 1人
いいえ 0人




三越や丸井などのデパートに行くのに使ってます。
さっぽろで地下鉄降りて大通まで歩いてまーす。
さっぽろ駅でしか行かなかったけれど、大通まで行くようになりました〜。
利用者のみなさん。ありがとうございました。

計画者

A Q1 チカホを作ろうと思ったきっかけはなんですか？

- ・札幌駅と大通それぞれ人が集まる場所をチカホでつなげることで都心全体を活性化させるために整備しました。
- ・天候の悪い日や冬の期間にもお年寄りや車椅子の方など誰もが安心して移動できる※バリアフリーな空間として整備しました。

＜札幌駅前通の利用者(交通量)の変化＞

		完成前	完成1年後	
			夏期	冬期
平日	地下		5.9	7.1
	地上	2.9	1.3	0.7
休日	地下		4.2	5.3
	地上	2.8	1.3	0.5

（単位：万人）

A Q2 どんなチカホをめざしていますか？

周辺のビルとの出入口や地下でつなげることや、チカホの両側にある広場などを活用することで訪れる人が楽しめる空間を作り出し、単なる歩行空間でなく都心の魅力向上につながる空間を目指しています。

A Q3 夏と冬とではどちらが利用者が多いですか？

チカホが完成して1年後の利用者を見てみると、夏の間よりも冬の間の利用者が多く、冬の寒さや雪を避けてチカホを利用する人が多いと考えられます。

※バリアフリー

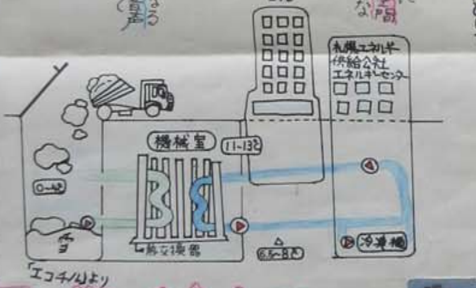
障害者・高齢者など生活（移動など）の障害となる部分を取り除くこと。チカホでは点字ブロック・音声による案内機能・エレベーターの設置などを行っています。

FAXにこたえてくださった計画者のみなさん。ありがとうございました。

つうきんラッシュでの人
ドドドドドド

雪と寒さを利用した地下の工夫

地下では、冬の雪や寒さを利用して、夏まで雪をとっておいて、その冷気で夏に必要なクーラーなどの風に使っています。このことを「雪冷熱利用」といいます。このことで、コスト削減にもなるし、エネルギーもあまり使わないので、エコで地球にやさしいです。また、農業にも使われます。野菜などを冷やすのに使われます。


ビル
札幌エネルギー供給公社エネルギーセンター
機械室
11-13℃
0-4℃
雪
熱交換器
6.5-8℃
冷凍機

「エコチカ」より

雪を利用した建物

マンション「ウエストパレス」

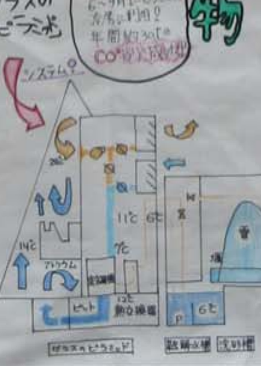
世界初の雪冷房マンション！

「雪蔵工房」

国内最大！ 3600tの貯雪量 庫内温度5℃ 湿度70％

「ガラスのピラミッド」

雪3000t貯雪！ 6〜9月にピラミッドの冷房に利用！ 年間約30tのCO2削減効果


システム？
14℃
11℃
6℃
アトリウム
ピット
熱交換器
ガラスのピラミッド
貯雪庫
冷却槽

編集後記

僕たちは、チカホと、雪冷熱利用の事を調べて、大都市ならではの工夫をしているなと思いました。雪を利用する事でエコだし、天気に左右されないのでいいと思いました。歩行者にきいても、楽に歩けるという事で札幌市民にとっても便利という事が分かりました。この事から、作った人は地球の事も、札幌市民の事もよく考えてると思いました。